

ダイバーシティ進行中

多様な人材が活躍できる働き方・育成メニュー

原子力機構では、研究成果の最大化を図るため、多種多様な専門性を持つ人材が活躍しています。職種・年齢・性別・国籍を問わず、一人ひとりが能力を最大限発揮できるよう、資質・能力の向上を図るとともに、働きやすい職場環境の改善に取り組んでいます。

原子力のプロとして世界で活躍するために

多様な専門分野・バックグラウンドを持った職員一人ひとりが、それぞれの個性や能力、専門性を発揮しています。

キャリア採用者も活躍!!



誰もが活躍できる職場づくりのために

仕事と生活の調和を図ることができるよう働きやすい環境づくりを行っています。



各種取組

- 勤務・支援制度～多様な働き方イクカツメニュー～
- ベビーシッター利用補助
- メンター制度
- 意見交換会
- 女性・外国籍職員の要望を踏まえた職場環境カイゼン
- 理解促進と意識向上セミナーなど



| 職種 | 研究職 | 技術職 | 事務職 |
|------|--|--|---|
| | 独創性・革新性ある研究開発を行い、原子力の未来を切り拓く | 最新の技術開発や最先端の施設の運転を担うエンジニア | 機構の円滑な事業遂行に貢献し、専門家と社会の懸け橋 |
| 採用実績 | <ul style="list-style-type: none"> キャリア採用 50% 博士卒 25% 修士卒 25% | <ul style="list-style-type: none"> キャリア採用 20% 博士卒 3% 修士卒 36% 学部卒 16% 高専卒(本科・専攻科) 8% 高卒 16% | <ul style="list-style-type: none"> キャリア採用 18% 修士卒 9% 学部卒 40% 高卒 33% |

※直近5か年実績



女性職員採用率
約23%
(R4年度実績)



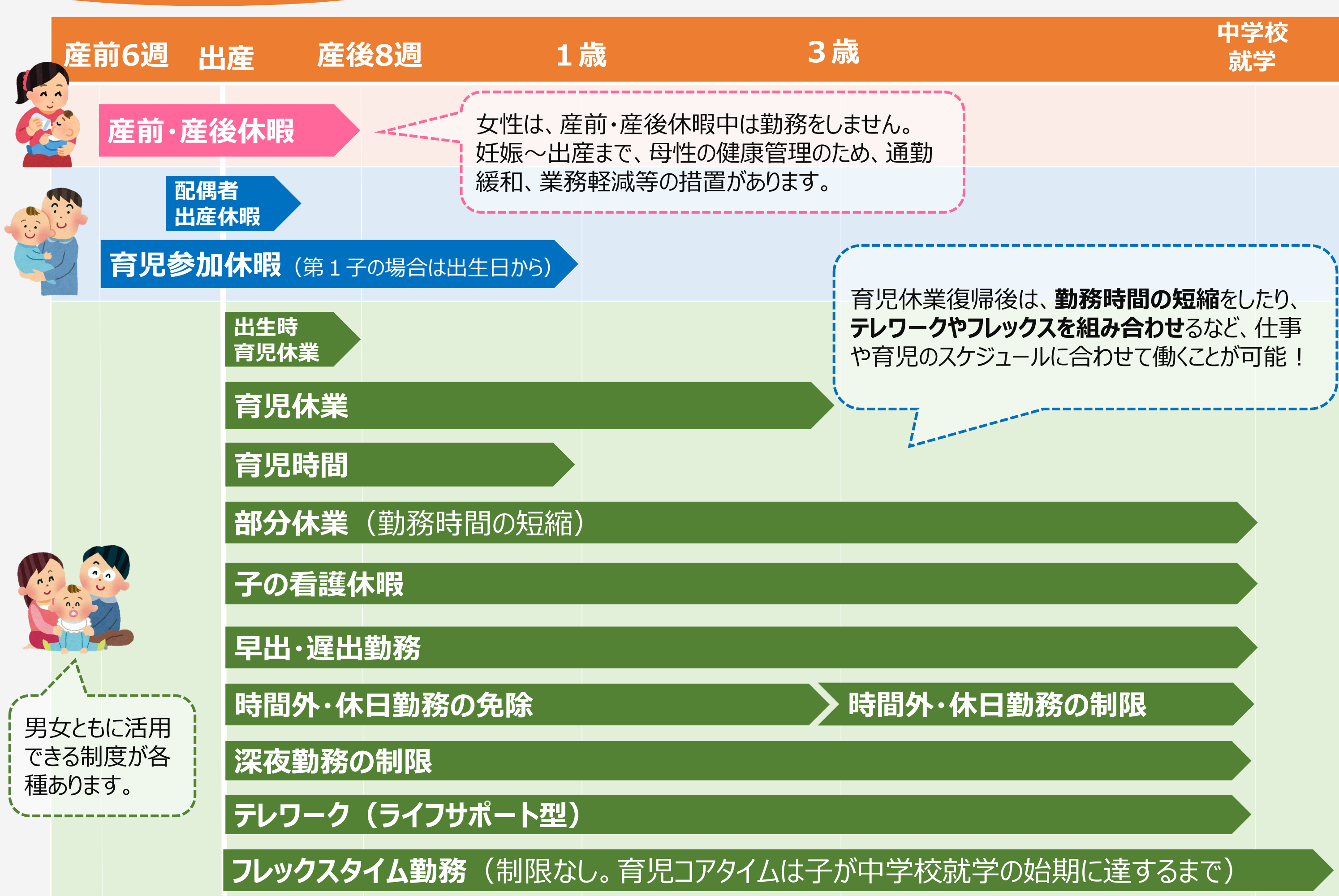
ダイバーシティ通信の発行
-取組や体験談を情報共有-

入社後は、キャリアアップのため各種制度を活用
博士・学士号の取得支援、炉主任等の国家資格取得支援、国際機関ポストへの出向、海外留学、階層別研修 など

男女ともに自身の働き方に合わせて
各種制度を活用し、
ワークライフバランスを実現!

多様な働き方

育児に係る制度



育児の他にも、WLBを支える各種制度を整備しています。

不妊治療休暇

介護休業

短期の介護休業

配偶者同行休業

など

数字で見るダイバーシティ

女性職員採用率 (令和4年度実績)

全体 23.7% (前年比4.3%向上) ↑
研究職 19.4%、技術職 19.6%、事務職 56.3%

役員における女性比率 (令和5年4月1日時点)

管理職級 3.6% (前年比0.8%向上) ↑

職員の育児休業取得率 (令和4年度実績)

男性 29.5% (前年比17.8%向上) ↑
女性 88.2% (前年比11.8%減) ↓

外国籍職員等の在籍率 (令和5年4月1日時点)

研究職 5.2% (前年比0.4%向上) ↑
技術職 0.3% (前年比0.1%向上) ↑

障がい者雇用率 (令和5年6月1日時点)

2.72% (前年比0.03%向上) ↑